



ミノルタ千代光会 会報 No.154

目次: No. 154

各地区秋の行事のご案内	1
関東地区懇親会	1-2
高野山物故者慰霊祭	2
事務局からお知らせ	3-4
理事会便り	3
追悼の辞	4



「関東地区懇親会」

(報告は第2頁に掲載)



「仏ヶ浦の海岸美」 青森県下北半島西部まさかり型の刃に当たる位置にある“仏ヶ浦”は国の名勝で天然記念物に指定されています。

ここを訪ねるには海からの観光船で訪ねるのが一般的で、海岸からの徒歩ルートは急峻です。

澄んだ海から奇岩・奇石が100メートルほどまで鋭くそそり立つ有様は、浄土を思わせることからこの名がついたそうで、他の海岸美とは異なる独特の美しさ・雰囲気と迫りに満ちています。それらの岩には蓮華岩、五百羅漢、蓬萊山などそれぞれの姿、形からイメージされた浄土にふさわしい名前が付けられています。〔撮影:松下修三〕

秋の行事のご案内

《 中部地区 》

10月27日(木)10～15時
豊川コロナワールド

ボーリング・コロナの湯・シネマの娯楽と昼食懇親会を計画していますので、ご参加の程お願い致します。

詳細は後日別途個別に案内致します。

(中部地区 事務局)

《 関西地区 》

11月9日(水)
大阪中之島美術館と懇親会

大阪中之島美術館と中之島周辺を楽しみ、道頓堀ホテルにて懇親会を予定しています。

詳細は同封の案内をご覧ください。皆様のご参加をお待ちしています。

(関西地区 事務局)

《 関東地区 》

11月上旬
浅草「和えん亭 吉幸」

浅草「吉幸」の懇親会を予定しています。

実施確定は9月上旬、会員の皆さまには、9月下旬ごろにメールまたはハガキでお知らせいたします。

(関東地区 事務局)

現状のコロナ再蔓延が収束方向に向かわない場合は中止とします。

2022年度 物故者慰霊祭について

2022年度の物故者慰霊祭は10月7日(金)に開催予定で準備を進めています。
しかし新型コロナウイルス感染リスクを考慮し、昨年同様物故者ご遺族及び千代光会会員方のご参列は中止し、理事及び会社関係者のみで催行することと致しました。

この一年に逝去された方々 (死亡が確認された方々を含む) (享年・住い・死去された日)

伊藤 政輝	2015年 5月20日
若山 成章	2021年 4月19日
西岡 一夫	2021年 7月28日
村瀬 蔵雄	2021年 8月19日
和田 幹司	2021年10月 5日
藤井 忠義	2021年10月15日
青木 喜三郎	2021年11月21日
小東 勤	2021年12月12日
新井 忠司	2021年12月18日
長谷川 吉加	2021年12月19日
柴田 道輔	2022年 1月 1日
奥村 脩	2022年 1月 1日
西前 久幸	2022年 1月23日
吉岡 宏	2022年 3月 8日
勝山 訓男	2022年 3月14日
谷口 允康	2022年 3月25日
山野井 頼雄	2022年 4月21日
佐野 明	2022年 5月 7日
木村 弘	2022年 5月16日
大根田 正一	2022年 5月23日
森 重喜	2022年 6月12日
市川 恵一	2022年 7月 8日
望月 清重	2022年 7月20日

○会員の皆さん

高野山へお詣りの節は南院にもお立ち寄り下さい。千代光会からのお詣りとお伝えいただければ過去帳、厨子も拝観できます。
※南院へは、高野山駅よりバスに乗車「波切不動前」で下車。
※ミノルタ慰霊塔のある霊園へは、「奥の院前」で下車。

関東地区懇親会

7月7日(木)

浅草 「和えん亭 吉幸」

参加者 13名

コロナ禍により3年ぶりの関東地区懇親会を開催いたしました。

この3年の間に老々介護、骨折、入院、施設入所等会員の皆さんの環境もかなりの変化があったようでしたが、47名からの返信(会員65名の72%)があり、16名の参加申し込みで理事一同ホッと致しました。会場の浅草「吉幸」も再開を喜んでいただき、コロナ前と同料金で貸し切りを受けていただきました。



ところが開催2日前に、事前に「体調次第では…」と言われていた方から「やはり腰痛が」と欠席連絡があり、また当日には急遽2名の欠席が生じ、13名での開催(会員65名に対し20%)となりました。

会は、参加者各自の近況報告、また返信を頂いた会員の近況報告を聞きながら楽しく会話を弾ませました。途中で恒例の津軽三味線の生演奏夕

イムがあり、いつも飲み会も忘れて演奏を楽しみました。あつという間の2時間、コロナの第7波が来ていることも少し忘れての時間を過ごし、次回の集約を約束しながら散会しました。

(理事 廣澤政明記)



集合記念写真は第1頁に掲載

▼訂正▲

会報153号に次の誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

第1頁「中部地区会員の皆様へ」

誤 2021年度関東地区総会承認のご報告
正 2021年度中部地区総会承認のご報告

おめでとうございます

田=中部地区会員
園=関東地区会員
無印=関西地区会員

<古稀>

5月 中尾 賀美田
6月 西井 隆儀
7月 下垣 和夫 夏目 重俊田
8月 先崎 辰明田

<喜寿>

6月 磯部 和夫田 江川 猛 酒井 敏雄
7月 三原 淑子 清水 健一
8月 小川 考田 安藤 裕田 塩津 陽三
竹村 弘美

<傘寿>

5月 情野 國城田
6月 小川 昌也 鈴木 健司 今川 正剛田
小澤 昭彦
7月 片岡 哲彦園 鈴木 秀典田 中村 敦子園
土肥 寿秀 中川 修三 水谷 千尋
寺田 克

<米寿>

6月 中島 正晃
8月 田中 美津子

<卒寿>

なし

事務局からお知らせ

新入会員のお知らせ

* (所属地区)

米田 三男 (関西)

【会員状況】

7月31日現在

関西地区	[498名]	合計
中部地区	[207名]	770名
関東地区	[65名]	

理事会だより

5月理事会

中止

6月理事会

- ◇2022年度高野山慰霊祭について
- ◇「事業所むかしいま」の事業所選定について
- ◇関西地区議題
- ◇2022年度総会について
- ◇秋の行事の検討

7月理事会

- ◇2022年度高野山慰霊祭について
- ◇ご遺族、会員への案内中止等
- ◇関西地区議題
- ◇秋の行事の案内について

暑中お見舞い申し上げます

お元気でお過ごしでしょうか
これからもさらに暑くなるようですので
熱中症はもちろんコロナの感染対策を
しっかりなさって
くれぐれもご自愛ください



《同封しています》

2022年度名簿

(個人情報を適切に保護し管理するために、会員名簿への記載は郵便番号の範囲内となっております。)

個人情報に変更があった場合は、すみやかに事務局にご連絡ください。
よろしくお願いたします。



追悼の辞

大根田 正一さん

5月23日死去

今まで2ヶ月に1回のペースで元技術センター光学部門の有志でやっていた飲み会がコロナ禍で出来なくなっていたがコロナもかなり収まってきたので久しぶりに外でやろうという事で誘いの電話を大根田さんにした時の事だった「この番号は現在使われておりません」、番号を確認して掛け直しても同じだった。

2か月前に電話したばかりだったので不吉な予感が脳裏をかすめた。自宅に電話を掛けたら奥様が出られ「主人が5月23日に亡くなりました」と告げられて言葉が失った。

大根田さんは、1971年に入社され堺工場の特機開発部門で電気技術者、機械技術者として各種計測機器の開発に従事されていきました。特に彼の開発されたオプ्टマーカー（建物などの構造物の垂直を光のスポットで計測する計測器）は、まだレーザーが普及していない時代で安価な計測器として建築業界で脚光を浴びました。

技術センターに移籍されてからは映像関係の光学設計グループでビデオカメラ用ズームレンズのメカ関係の設計業務に従事されていきました。

その後ビデオカメラ開発部門に異動されしばらくして、当時のミノルタがOEMで日立製作所から供給を受けていたビ

デオレコーダーの米国における販売の技術サポート要員として1982年～1985年の約4年間MCに駐在されることになった。その間彼の特技であるピアノ演奏（中でも即興でのジャズピアノ）と人懐っこい笑顔でMCの現地従業員との交流を深め、帰国後も彼らとの交流が続き、毎年のクリスマスカード等のやり取りを最近まで続けておられたと伺っています。

また国内でのビデオカメラ用のレンズビジネスにおいても彼独特の人との交流術がいかなく発揮され他社の技術者との交流が大変うまく行きビジネスに大いに貢献されました。

私も大根田さんが光学部門にいられてからビデオ関係の光学系の開発でお世話になり、プライベートでも台湾や国内など一緒に旅行する機会が何度かあり楽しくお付き合いさせて頂きました。有難うございました、そちらではゆつくりピアノを楽しんで下さい。心よりご冥福をお祈りいたします。合掌。

(阿部 治男)

お悔やみ申し上げます

伊藤 政輝	2015年 5月20日
西岡 一夫	2021年 7月28日
谷口 允康	2022年 3月25日
山野井 頼雄	2022年 4月21日
佐野 明	2022年 5月 7日
木村 弘	2022年 5月16日
大根田 正一	2022年 5月23日
森 重喜	2022年 6月12日
市川 恵一	2022年 7月 8日
望月 清重	2022年 7月20日

